

第9回高校化学グランドコンテスト

募金趣意書



第9回高校化学グランドコンテスト

実行委員会委員長 櫻木弘之

謹啓 皆様におかれましては益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、「第9回高校化学グランドコンテスト」最終選考会を2012年11月4日(日)に大阪市立大学 学術情報総合センターにおきまして、開催する運びとなりました。本コンテストは、大阪市立大学、大阪府立大学、読売新聞大阪本社が毎年主催するコンテストであり、2004年の第1回から数えて今回で9回目を迎えます。高等学校及び高等専門学校(高専)の学生自らが自主的な研究活動を楽しみながら科学的な創造力を培い、将来、科学を好きになる人間へと成長するよう、大学として社会的に貢献することを目的としています。本コンテストは、近畿圏以外に北海道、福島県、長野県、東京都、千葉県、愛媛県、群馬県、岐阜県、香川県、広島県、福岡県などの遠方からの参加により全国レベルへのコンテストに展開しております。本コンテストでは参加に要する費用は基本的に参加者の自己負担としておりますが、特に大阪から遠方の場合には、旅費工面がままならないために本コンテストへの参加を断念せざるを得ない事態が生じております。このような理由で、本コンテストへの参加を断念せざるを得ない事態が生じる事は主催者としては大変不本意であり、最終選考会で口頭発表を行うグループについては、その旅費を補助することにしております。本来であれば、旅費の補助も含め、本会議の運営は主催団体による拠出によって実施されるべきですが、会計法上、参加者旅費の補助は行えないという制限が課せられております。そこで、大学、あるいは化学に関わりのある多くの企業・団体ならびに個人の皆様からの、資金面でのご支援をお願いする次第です。昨年3月に発生いたしました東日本大震災が及ぼす影響など景気が不安定な昨今、誠に心苦しいことではあります。本コンテストの趣意ならびに諸事情をご賢察いただき、ご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

謹白

第9回高校化学グランドコンテストの概要

1. 会議の名称

第9回高校化学グランドコンテスト

2. 開催日

2012年11月4日(日)

3. 開催場所

大阪市立大学 学術情報総合センター (大阪府大阪市住吉区杉本 3-3-138)

4. 主催団体など

(1) 主催

大阪市立大学、大阪府立大学、読売新聞大阪本社

(2) 後援(第8回コンテスト)

文部科学省、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、奈良県教

育委員会、和歌山県教育委員会、滋賀県教育委員会、三重県教育委員会、北海道教育委員会、福島県教育委員会、群馬県教育委員会、千葉県教育委員会、神奈川県教育委員会、長野県教育委員会、岐阜県教育委員会、静岡県教育委員会、愛知県教育委員会、島根県教育委員会、鳥取県教育委員会、岡山県教育委員会、徳島県教育委員会、香川県教育委員会、愛媛県教育委員会、福岡県教育委員会、長崎県教育委員会、宮崎県教育委員会、大学コンソーシアム大阪、南大阪地域大学コンソーシアム、化学プラットホーム@関西、首都大学東京、横浜市立大学、名古屋市立大学、讀賣テレビ放送株式会社

(3) 協賛(第8回コンテスト)

日本化学会、近畿化学協会、パナソニック株式会社、シグマアルドリッチジャパン株式会社、株式会社柴尾商店、大阪薬研株式会社、大研科学産業株式会社、八洲薬品株式会社、ビー・エー・エス株式会社、南出理化学会、株式会社遊タイム出版、株式会社東京化学同人、株式会社化学同人、株式会社リガク

5. 高校化学グランドコンテストの目的

「高校化学グランドコンテスト」は、高等学校及び高等専門学校等の化学クラブの自由課題や、化学課程の課題研究等で行っている学習研究活動を支援し、高校生等自らが自主的な研究活動を楽しみながら科学的な創造力を培い、将来、科学を好きになる人間へと成長するよう大学として社会的に貢献することを目的としています。本コンテストは平成 16 年度より開始され、今年で9回目となりますが、(1) 自らの習熟度に応じて科学の楽しさを体験し創造力を培うという点、および (2) 一線の科学者である大学教員が高校の教育者と直接タイアップして、高校生の自主的な学ぶ活動を持続的に支援する点に大きな特徴があります。

本コンテストでは、「発表することの大切さ」を体験してもらうために、着眼点のユニークさと、習熟度または自主的研究の成果を発表する公の場(インターネット配信を含む)を提供し、優れた研究発表、グループ・個人を表彰しています。表彰には最高の栄誉となる文部科学大臣賞をはじめ、大阪府知事賞、大阪市長賞、大阪市立大学長賞、大阪府立大学長賞、読売新聞社賞など数々の賞を設けています。

本コンテストでは、大阪府内および近県を始めとして、全国他府県の高校生等の化学への関心を高め、科学教育のレベルアップを図ることを目指しています。第2回コンテスト以降は、近畿圏以外に北海道、福島県、長野県、東京都、千葉県、愛媛県、群馬県、岐阜県、香川県、広島県、福岡県などの遠方からの参加を歓迎し、全国レベルへの展開も着々となされています。本コンテストには、産官学連携の一環として、企業や社会的な影響力の大きな新聞社など、また学術団体としては、日本化学会、近畿化学協会の協力を得ています。

6. 第9回高校化学グランドコンテストの概要

- ① 本コンテストは、エントリーした高校生による研究成果の発表の場であると同時に最終選考の場である。最終選考は、化学の分野において第一線で活躍する大阪市立大学と大阪府立大学、および他大学の教育研究者、協賛団体の協力によって行う。最優秀賞は、文部科学大臣賞、大阪府知事賞、大阪市長賞、優秀賞(主催者賞)は大阪市長賞、大阪府立大学長賞、読売新聞社賞とし、金賞他いくつかのカテゴリーにもとづく多くの特別賞を準備する。
- ② 本コンテストは大阪市立大学、大阪府立大学、読売新聞大阪本社との共催(共同主催)で実施し、3者より選出された実行委員からなる高校化学グランドコンテスト実行委員会が、関連研究者の協力を得て企画・運営を行う。
- ③ 共催新聞社は、事前に本教育事業の開催を社告にて自社新聞(朝刊)に掲載し、当日取材と特集記事

(1乃至2面、10段記事／面、下5段スポンサー広告)を後日掲載する。

- ④ 他社新聞社など報道関係にも、最終選考会当日の取材は可能とする。ただし、Video 録画、放映などについては、共催側との事前協議の対象とする。著作権、知的財産所有権は、前例・慣行により主催(共催)者がもつ。
- ⑤ 本コンテストの後援は、文部科学省はじめ、関連学会などの学術団体、大阪府・大阪市および府県教育委員会などに広く願います。コンテストのスポンサーは、少なくとも後援者または協賛団体となっただく。
- ⑥ 本コンテストの全内容は、Internet によってリアルタイムで配信し、高校等における e-Learning の一環として広く利用していただく。Internet 配信は、協賛団体などの技術支援を得て、主催側が責任をもって行う。各家庭への個別ストリーミング配信は、必要に応じて企業のプラットフォームを活用させていただく。
- ⑦ コンテストの内容などは、DVD として焼き直し、教育機関をはじめ希望する個人または法人に、後日配布する。録画や編集、制作などは、高校化学グランドコンテスト実行委員会が責任を持って行う。
- ⑧ 本コンテストの開催については、開催実施要項が確定次第、共催側、協賛側、後援側、その他スポンサー側のホームページに掲載する。
- ⑨ 参加申し込み方法： 一般参加申し込みは、共催新聞社を通じる。ただし一部を招待とし、府内の高校などの課外活動の一環として参加も可能とする。
- ⑩ 参加予定者数： 200 名
- ⑪ 参加費用： 無料

7. 高校化学グランドコンテストの構成

(1)プログラム

開会式、ポスターセッション、口頭発表、特別講演、表彰式

(2)開催プログラム(第8回コンテスト)

- 09:20～10:20 ポスター発表(奇数番号) 19件
- 10:20～11:20 ポスター発表(偶数番号) 19件
- 11:20～12:00 昼食休憩
- 12:00～12:25 開会式
- 12:25～13:40 口頭発表 5件
- 13:40～13:50 休憩
- 13:50～15:05 口頭発表 5件
- 15:05～15:20 休憩
- 15:20～16:00 特別講演(Tomio Petrosky 教授、テキサス大学)
- 16:00～16:45 結果発表・表彰式、総評

(3)使用言語

日本語(英語も可)

(4) 要旨集

講演要旨集を発行（第8回コンテストはA4版199ページ）。協賛団体の広告を掲載。

(5) DVD

コンテストの内容はDVDに収録し、教育機関をはじめ、希望する個人または法人に後日配布。

8. 過去開催状況

開催年	開催地	発表件数	参加校数	参加者数
2004(第1回)	大阪市立大学	33	21	275
2005(第2回)	大阪市立大学	26	15	247
2006(第3回)	大阪市立大学	33	22	251
2007(第4回)	大阪市立大学	33	24	252
2008(第5回)	大阪市立大学	40	26	293
2009(第6回)	大阪市立大学	41	32	319
2010(第7回)	大阪府立大学	49	35	294
2011(第8回)	大阪府立大学	48	35	300

9. 組織

委員長	櫻木 弘之	大阪市立大学理学研究科長・理学部長
副委員長	前川 寛和	大阪府立大学理学系研究科長・理学部長
事務局長	八ッ橋 知幸	大阪市立大学理学研究科教授
監 事	永田 広道	読売新聞大阪本社編集局科学部長
監 事	松坂 裕之	大阪府立大学理学系研究科教授
委 員	中沢 浩	大阪市立大学理学研究科教授
委 員	柳 日馨	大阪府立大学理学系研究科教授
委 員	小寄 正敏	大阪市立大学理学研究科准教授

10. 事務局、問い合わせ先

〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学大学院理学研究科内 第9回高校化学グランドコンテスト実行委員会事務局

事務局長 八ッ橋知幸(やつはし ともゆき) (大阪市立大学 大学院理学研究科 教授)

TEL 06-6605-2554 FAX 06-6605-2522 E-mail: gracon@sci.osaka-cu.ac.jp

高校化学グランドコンテストホームページ

<http://www.gracon.jp>

11. 寄付金を必要とする理由

本コンテストの開催に要する経費の概算は、「11. 所要経費の概算」とおり 440 万円である。この費用のう

ち主催団体の大阪市立大学、大阪府立大学が合計 300 万円を分担金として拠出するが、会計法上、参加者旅費の補助は行えないという制限が伴う。

本コンテストでは参加に要する費用は基本的に参加者の自己負担としているが、日本全国からの参加者があり、特に大阪から遠方の場合には、発表する高校生全員と指導される先生の旅費の工面が困難な事例も発生している。旅費工面がままならないために本コンテストへの参加を断念せざるを得ない事態は主催者としては大変不本意なものである。そこで最終選考会で口頭発表を行うグループについては、その旅費を補助することになっている。今回の募金はそのための財源として活用するものである。

12. 所要経費の概算

単位:円

収入の部		支出の部	
1. 自己負担金	3,000,000	1. 会議準備費	1,150,000
2. 募金予定額	1,000,000	2. 会議運営費	2,000,000
3. 繰越金	400,000	3. 旅費補助	1,000,000
		4. 予備費	250,000
収入合計	4,400,000	支出合計	4,400,000

2012年4月16日

大阪市立大学大学院理学研究科内

第9回高校化学グランドコンテスト実行委員会事務局

事務局長 八ッ橋知幸(大阪市立大学 大学院理学研究科 教授)